

FP Topics = 高齢者施設の特徴についてⅡ = 2025年6月号

= One's impressions =

連日、急激な猛暑に見舞われています。体調管理にはくれぐれもお気を付けください。

本末転倒ですが、エアコン等による温度調節で、風邪をひいてしまうこともあるようです。

年齢を重ねると、気温に対応する感覚も鈍ってしまいがちなので注意が必要です。

さて、今月も引き続き高齢者施設の具体的な内容を確認してみたいと思います。今月は“要介護認定を受けた人”が入居できる施設を具体的に解説します。

持病や医療行為の有無など介護レベルにより、それぞれ入居基準は施設により異なります。介護保険施設サービスが適用される施設では、住民税非課税世帯で預貯金が一定額以下の場合、食費や居住費用が軽減されます。

= 要介護認定を受けた人が入居可能な施設 =

| | |
|---|---------------------|
| ① | 介護付有料老人ホーム・介護型 |
| ② | 介護型ケアハウス／介護型サ高住 |
| ③ | 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） |
| ④ | 介護老人保健施設（老健） |
| ⑤ | 介護医療院 |
| ⑥ | 認知症グループホーム |



= 各施設の概要等 =

①介護付有料老人ホーム・介護型

24時間対応の介護を受けることができます。医療対応の有無・認知症への対応・みとりまで行うか否かは施設によります。

《必要経費等の目安》

居住費：5万円～数十万円

食費：4万円～7万円

介護サービス費：要介護度・所得等による

前払金・敷金等：0～数千万円

その他の費用：利用分を負担

②介護型ケアハウス／介護型サ高住

24時間対応の施設で、施設数はまだ多くありません。介護型の場合、費用は若干高めになるようです。※介護型サ高住には高級な施設もあります。

《必要経費等の目安》

居住費・食費：7万円～15万円

※介護型サ高住は15万円程度～

介護サービス費：要介護度・所得等による

前払金・敷金等：0～数十万円

※介護型サ高住は0～数千万円

③介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

要介護3以上の認定を受けている人で、自宅等での生活や介護が難しい場合に入居できる介護施設。住民税非課税世帯への食費・居住費の軽減措置を受けることができます。

《必要経費等の目安》

居住費：4万円～11万円

食費：2万円～5万円

介護サービス費：要介護度・所得等による

その他の費用：利用分を負担

前払金・敷金等：なし

④介護老人保健施設（老健）

自宅や他の施設等へ転居することを前提に、生活のリハビリテーションを行いながら、3ヶ月～6ヵ月程度の短期的な入居ができる施設です。住民税非課税世帯への食費・居住費の軽減措置を受けることができます。

＜必要経費等の目安＞

居住費：4万円～11万円

食費：2万円～5万円

その他の費用：利用分を負担

介護サービス費：要介護度・所得等による

前払金・敷金等：なし

⑤介護医療院

長期的な医療と介護の両方が必要な人のための介護施設です。重篤な身体疾患を有する人・認知症高齢者等、高度な医療サービスを必要とする人が対象です。住民税非課税世帯への食費・居住費の軽減措置を受けることができます。

＜必要経費等の目安＞

居住費：4万円～11万円

食費：2万円～5万円

その他の費用：利用分を負担

介護サービス費：要介護度・所得等による

前払金・敷金等：なし

⑥認知症グループホーム

認知症で要支援2以上の人が対象です。1ユニット5～9人の少人数で運営されており、入居者ができる範囲で料理を作るなど、家事を行うことで、自宅にいるような雰囲気を感じさせるように工夫をする施設もあります。

＜必要経費等の目安＞

居住費・食費：10万円～20万円

その他の費用：利用分を負担

介護サービス費：要介護度・所得等による

前払金・敷金等：施設による



沢装備と食料・酒（ビールとウィスキー）を背負った川床への激下りはかなり堪えたようで、私も相方（ザイルパートナー）もかなりバテバテ。幕営地にザックを下すや否や、ビールを取り出しプシューとやりました！3号缶をゴクリと一息ついたところで、一夜の宴会場を設営に掛かります。

宗教施設の建物群から少し離れただけなので、夜は気配を消している必要があります。

残念ながら小さい焚火にすることに・・・薪集めも簡単です。あとは寝床の確保ぐらい、翌日も引き続き好天の予報、天幕は必要なさそうです。レトルトの夕食もそこそこに、さっそく呑み始めます。夏の遡行ではビールを多めに担ぎ上げます。冷たい沢の流れに程よく冷えたビールは格別、疲れた身体に染みわたり最高です！

ビールタイムが終了すると同時にウィスキーの登場。角瓶をそのまま担ぎ上げていたのです。

この日は過酷な激下りだったこともあり、運動量が半端ではなかったため凄い勢いでお酒がすすみます。気が付くと、2人で角瓶を一瓶空けていました。

まあ、明日はこの谷を詰め上げて帰るだけなので、荷が軽くなって良かったなーてな感じでしたが、翌日の長～いゴーロ（平凡な川床）歩きで後悔することになりました・・・

2人でウィスキーを一本空けると、さすがに酔いがまわってしまい、そのまま寝てしまいました。

朝方寒さで目を覚ますと、シュラフにも入らず青天井でぐっすり眠ってしまったようです。

朝は若干二日酔いです。ボーっとしながら簡単な朝食をとり、撤収作業に取り掛かりました。

歩き始めたのは良いのですが、ほぼ傾斜を感じない谷筋に本日の長丁場を予感するのでした・・・

